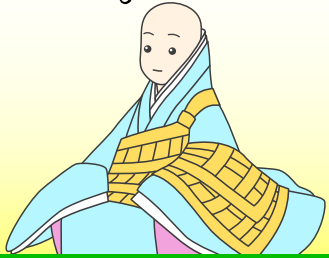


百人一首 (うたばんごう 歌番号:6 ~ 10)

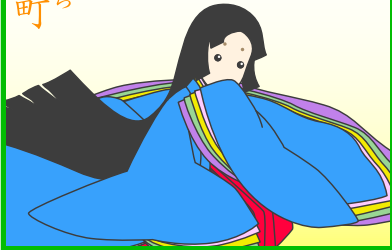
これやこの  
ゆくも帰るも  
わかれては  
別れては  
知るも知らぬも  
あふ坂の関

蝉丸  
せみまる



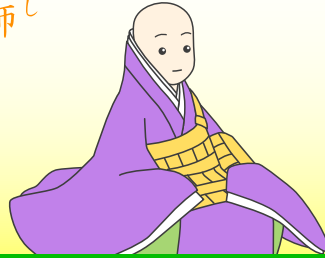
花の色は  
移りにけりな  
いたづらに  
わが身世にふる  
ながめせし間に

小野小町  
おののこまち



わが庵は  
都のたつみ  
しかぞ住む  
世をうぢ山と  
人はいふなり

喜撰法師  
きせんほうし



天の原  
ふりさけ見れば  
春日なる  
三笠の山に  
出でし月かも

阿部仲麻呂  
あべのなかもろ



かささぎの  
渡る橋に  
置く霜の  
白きを見れば  
夜ぞふけにける

中納言家持  
ちゅうなごんやかもち



ぬも  
かのせき

わがみに  
ふるながめ  
せしまに

よをうぢや  
まとひとは  
いふなり

みかさのや  
まにい  
つきかも

しろきをみ  
ればよぞふ  
けにける